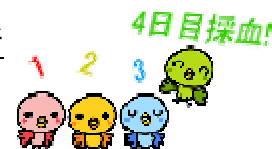


## 新生児代謝異常等検査に関するよくあるご質問について

いつも札幌市の新生児マス・スクリーニング事業にご理解とご協力をいただきありがとうございます。今回のマス・スクリーニングニュースでは、医療機関の皆様から比較的多く寄せられた質問についてまとめました。参考にさせていただけると幸いです。

### 哺乳が十分でない場合、最初の採血は、いつごろがいいのでしょうか？

哺乳状況にかかわらず、初回の採血は日齢 4-6 にお願いいたします。これは、見出される疾患の中に、哺乳状況によらず検査が可能で、かつ疾患があった場合早急な治療開始を必要とするものがあるためです。哺乳を待って採血を遅らせた場合、治療が遅れてしまう危険性があります。また、ガラクトース血症、メープルシロップ尿症、先天性副腎過形成症が疑われるような症状や所見のある赤ちゃんについては、日齢 4-6 を待たず、できるだけ早くに採血をして、ただちに検体をお送りください。(その場合は、必ず衛生研究所までお電話にてご連絡ください)



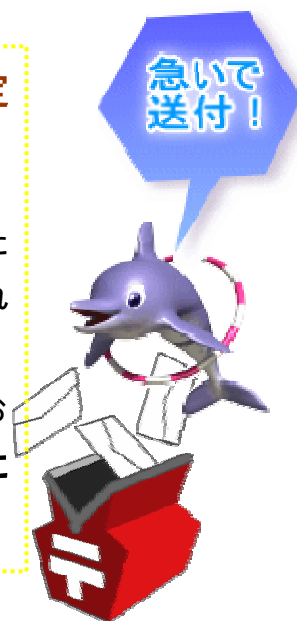
### 哺乳量の「良・不良」の目安はどのくらいですか？

従来から、良：100ml/Kg/Day 以上、不良：50ml/Kg/Day 程度とされてきました。しかし、現在は母乳育児が主流であり、正確な哺乳量はわからない場合が多いです。そのような場合、従来の目安を参考にして、これに相当するくらい飲んでいるかを印象として記入していただくようお願いしています。検査で見出される疾患のうち、栄養の代謝に係わる疾患は「十分な哺乳量」がないと正確な検査ができませんが、札幌市では「十分な哺乳量」を、採血時において、『24 時間以上良好な哺乳状態にある』こと、もしくは『不良ではあるが、72 時間以上哺乳はできている』こととしています。また経鼻栄養であっても、タンパク質もしくはアミノ酸が含まれていれば問題ありませんが、糖水のみの場合、正確な検査ができないこととなります。哺乳が十分でなかったり、糖水のみであった場合、あらためて哺乳開始できてから 48 時間以降を目安に再採血をお願いしています。



## 採血から検体受付までの日数による不備検体の判定基準は？

新生児スクリーニングは、疾患があった場合、早急に治療を開始するために行っています。採血から発送まで時間がかかるとは治療開始が遅れて、重い障がいをおこしてしまうかもしれません。札幌市衛生研究所では、採血から検体の受付までに14日を過ぎた場合、「不備」として再採血をお願いしています。ですから、採血した検体は溜めずに、その都度、すぐに衛生研究所にお送りください。



## 再採血のときも、また申込書がいるのですか？


再採血の場合、申込書は必要ありません。申込書は初回受付のときだけお送りください。まれに初回申込みにもかかわらず申込書が同封されていない場合がありますが、その場合、検査によっては実施が遅れることになります。初回採血の場合、必ず申込書をお送り下さい。

また申込書とパンフレットは、札幌市在住の方の場合、母子手帳と一緒に配布させていただいております。お手数ではございますが、お持ちでない方を対象に病院等から配布いただけますようお願いしております。また申込書とパンフレットは札幌市衛生研究所のホームページからもダウンロードできます。そちらを用いていただいてもかまいません。

<http://www.city.sapporo.jp/eiken/org/health/newborn/panf.html#moshikomi>



ご質問がありましたら、衛生研究所保健科学課までお問い合わせ下さい。

 : 011-841-7672

これからも、札幌市のスクリーニング事業の発展にご協力をお願いいたします。

マス・スクリーニングのホームページは  
<http://www.city.sapporo.jp/eiken/org/health/index.html>